

令和6年度 埼玉県学校総合体育大会（バドミントン競技） 全国高等学校総合体育大会 埼玉県北部地区予選会 （個人戦）実施要項

1. 期 日 令和6年 5月 7日・8日・9日 8時30分～
5月 7日 準備終了後、諸連絡、競技（男女）
7日・8日・9日 競技（男女）
2. 会 場 くまがやドーム
3. 種 目 個人戦（男女 各学校対抗 単・複）
4. 競技規定 (1)2024年度（財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規定及び公認審判員規定による。
(2)2024年度（財）日本バドミントン協会検定合格水鳥シャトル（第1種、第2種検定合格品）を使用する。使用シャトルは、指定された銘柄の各校持ち寄りとする。
5. 競技方法 (1)単・複を行い、いずれもトーナメント戦方式とする。
(2)選手変更は、いかなる場合も認めない。
6. 引率責任者および、監督、コーチについて
(1)引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。
(2)監督、コーチは、コーチの認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入していることを条件とする。
7. 参加資格 (1)選手は学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍し、埼玉県高等学校体育連盟加盟校の生徒であること。
(2)監督、コーチ、マネージャー、選手は、（財）日本バドミントン協会に2024年度登録を完了済みの者とする。
(3)年齢は平成18年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一競技3回までとし、同一学年での出場は一回限りとする。
(4)複において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5)転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる。）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部長の許可があればこの限りではない。
(6)出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
(7)参加資格の特例
ア. 上記(1)(2)に定める生徒以外で、(3)～(7)の本大会参加資格を満たすと判断され、埼玉県高等学校体育連盟が推薦する生徒については、別途定める規定に従い大会参加を認める。
イ. 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途定める規定】

1. 学校教育法第82条の2、83条の学校に在籍し、埼玉県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
2. 以下の条件を具備すること。
 - (1)大会参加を認める条件
ア. 全国高等学校連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ. 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
ウ. 各学校にあっては、埼玉県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、本大会への出場条件が満たされていること。
エ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていないこと、運営が適切であること。
 - (2)大会参加に際し守るべき条件
ア. 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて、傷害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。
ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8. 参加制限 (1)単・複とも監督1名のみとし、複の選手は同一校選手であること。
(2)男女各7複・10単(1校の県大会への出場数の上限が7複・10単である)
9. 申し込み 所定の書式に入力し、データを事前にメールに添付して送信する。

4月26日(金) 12:00までにお願ひします

『【令和版】(学校名 男女)〇年度4・5月学総大会申し込みファイル』

メール sekido.hiroki.15@spec.ed.jp

※必ず、メールが届き(確認)次第、返信いたします。

また、送信したものをプリントアウトして職員が押されたものを令和6年5月1日(水)14時00分から熊谷勤労会館大ホールで開催される北部地区高等学校バドミントン顧問会議へ持参すること。

電話、FAXによる申し込みは不可(必ず電子メールでデータを送信する。)

10. 表彰 優勝校に優勝杯(持ち回り)を、ベスト4入賞者に賞状を授与する。
11. 組み合わせ 令和6年5月1日(水)14時00分から熊谷勤労会館大ホールで開催される北部地区高等学校バドミントン部顧問会議にて行う。
12. 試合進行等 (1)ア. 21点3ゲームとし、2ゲームを先取した方が勝ちとなる。
イ. 各ゲームとも20点オールになった場合、2点差をつけた方が勝ちとなる。
2点差がつかなかった場合は、30点を先取した方が勝ちとなる。
(2)ア. 各ゲームともどちらかが11点を先取したら、60秒を超えないインターバルを与える。(競技区域外へ出てよいが、20秒前までにコートに入る)
競技区域内でアドバイスする場合には、両サイドとも2名までとし、コートに入ってもよい。
イ. 第3ゲームでどちらかが11点を先取したら、チェンジエンドをする。
競技区域以内でアドバイスする場合には、チェンジエンド後とする。
ウ. 第1ゲームと第2ゲーム、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを与える。(競技区域外へ出てよいが、20秒前までにコートに入る)
競技区域内でアドバイスする場合には、両サイドとも2名までとし、コートに入ってもよい。
(3)同一選手が連続して試合を行う場合には、前試合が終了後、15分間の間隔をおいてから次試合を始める。
(4)練習は初回戦のみ2分間とする。(1回戦のない者は2回戦が初回戦となる。2回戦が初回戦の者と対戦する1回戦勝ち上がり者は2回戦も練習できる。)
13. 連絡事項 (1)競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。白一色の着衣を使用する場合には、上衣は襟付き半袖、下衣は男子ショートパンツ・女子ショーツスカート又はショートパンツとする。色付きの着衣を使用する場合シューズは、(財)日本バドミントン協会の審査規格品とする。
(2)上位の背中中央には必ず高等学校名及び都道府県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。【上段—学校名(やや大きく)、下段—都道府県名】ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦15cm・横30cmの大きさを基準とする(ゼッケンの場合の文字の色は黒色又は濃紺色とする)

(例) 30cm

学 校 名	15cm
都道府県名	

- (3)コート割り責任審判制で行う。
- (4)選手・生徒は、当該校引率責任者（部顧問教師）によって引率され、当該校引率責任者は、選手・生徒の行動に責任を負うものとする。
- (5)今大会の男女単複各上位16位入賞者には全国高等学校総合体育大会埼玉県予選会に出場できる。
- (6)必ず当該校引率責任者（部顧問教師）は、開会式までに受付（本部席）をしてください。
- (7)必ず当該校引率責任者（部顧問教師）は、毎朝受付（本部席）をしてください。
- (8)必ず当該校引率責任者（部顧問教師）は、開会式に参列してください。
- (9)開会式に参加する選手の服装は、ユニフォーム又は競技時のものとする。
- (10)試合中の水分補給を認めるが、必ず審判の許可を得るものとする。（ベンチでの水分補給は認めない。）容器は倒れてもこぼれないスクイズボトルを使用し、審判の横にある指定の箱に入れること。